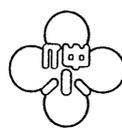


平成 29 年度  
NO. 3  
5 月 31 日発行  
6 月号

# 仲町だより



なか よく  
ま なぼう  
ち からいっばい  
練馬区立仲町小学校

当たり前が当たり前

校長 矢島 直行

夏を思わせる日差しのもと、子供たちは休み時間に校庭で元気いっぱい遊んでいます。これからさらに暑くなる季節です。学校でも熱中症対策を十分に行うなどして、子供たちの健康に気を付けていきます。

さて、5月22日（月）から25日（木）まで6年生の武石移動教室がありました。練馬区とは異なる武石の大自然に触れるとともに、友達と一緒に宿泊をする貴重な体験を通して楽しく充実した時間を過ごしました。子供たちは小学校生活での素晴らしい思い出をつくることができました。移動教室の様子は、学校のホームページや校長室前の掲示板に写真を掲示してありますのでご覧ください。

今年の6年生も集団生活でのきまりを守るとともに自分たちの役割を自覚し、友達と協力し合うことができました。時間を守る、人の話をしっかり聞く、協力して活動するなど、「当たり前のことが当たり前」にできました。移動教室を楽しくしたいとみんなが思っています。しかし、それよりも安全が第一です。安全があつてこそ、いろいろな活動ができます。

移動教室だけではなく、毎日の学校生活でも同じことが言えます。「行ってきます」と元気に学校に登校する子供たちは、学校での1日の生活を終え、「ただいま」と自宅に帰ります。この「当たり前」の光景が「当たり前」のように続いていかなければなりません。そのために学校では、避難訓練をはじめ、施設整備の安全対策、環境美化に努めています。事故が起こらないように対策を講じています。

また、学校は勉強をするところです。教師は子供たちにとって分かる授業となるように努めています。勉強だけではなく、友達と仲よく遊び、良好な人間関係を築くことができるようにも努めています。このような学校での「当たり前」の活動が、「当たり前」のように行われることにより、学校が楽しくなります。そして子供たちの成長につながります。

このことは学校だけに限りません。例えば、道路を横断するときは、信号機のあるところや横断歩道で左右を確認して渡ること。自転車に乗るときは、2人乗りはしないこと。友達同士道路に広がらずに歩くこと。自分が出したゴミは道路などに捨てず、ゴミ箱や自分の家に持ち帰ること。などがあります。「当たり前のことが当たり前」のように行えることが安全と命を守り、私たちの生活を楽しくさせることにつながります。

学校ではこれから水泳指導が始まります。水泳は素晴らしいスポーツですが、時に油断をすると大きな事故につながります。約束を守り、安全に気を付けながら水泳指導に取り組み、水泳の目標が達成できるようにしたいです。

学校が楽しいと思えることが「当たり前」であるように、みんなが仲町小学校を楽しいと思えるようにしていきたいです。

保護者と地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。